

# 研究結果報告書

## 研究結果

公共参加とは市民が社会公益を維持し促進するため、各種の合法的な道と方式を通し利益を表出し、それに、公共活動及び公共政策決定に影響を与えるという社会行為である。

中国には、さまざまな公共参加方法がある。たとえば、選挙、苦情処理、コミュニティ参加、公示、ネット上の参加、懇談会、市長ホットライン、リーダー対話日などの形が現れる。そのほか、座り込みなどの非制度の参加もある。それに、中国の公共参加は以下の特徴があると思われる。第一に、外力の推進。現在中国の公共参加は公民のニーズによって行い、政府からの提唱はまだ一定の範囲にとどまっている。第二に、メディアの推進。メディアは公共参加の中で重要な協力者となっている。第三に、政府主導の公共参加の議題の形式化。公民の本当のニーズに応じるものではない。

日本では、さまざまな市民参加の形、例えば、市民の直接請求、市民投票、市民訴訟などがあり、市民自治の原則が法律化されている。そのほか、日本各地で市民運動は、1960年以降の経済高度成長期で生活環境の悪化に対する生活防衛として生まれた公害反対、消費者保護、自然保護、さらに自治体改革など、さまざまな形をとって現れた。日本の公共参加は以下の特徴がある。第一に、市民参加方法の豊富。第二に、市民の公共参加に対する重視。第三に、公共参加制度の法的保障。

本研究は日本の公共参加の構築を参考し、中国の公共参加は改善すべきところがたくさんあると考える。まず、法律上公共参加制度の構築。次に、公共参加の道が法律上具体化されること。それから、国外の先進的な公共参加の制度と方法が中国の参考になり、中国の公共参加の質を高めること。

## 研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

2011年8月12-15日江蘇省呉江市において、『中国モデルの学際的な見直しと将来の見通し』という研究会を行って、日中両国の公共参加についての比較研究を発表した。

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等) 2012年4月

『中国行政管理』あるいは『行政論壇』に「中国の公共参加」や「日本の公共参加」という文章を予定だ。

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)